

推奨モデル特別賞

■団体名 おおい町立名田庄小学校（福井県）

■企画名 星の村から名田庄トレイル ～陰陽道の大家安倍家ゆかりの地の秘密をさぐる冒険へ～

■目的 自分たちが生まれ育った地域（名田庄）にある豊かな自然の中での体験活動を通して、長年大切にされてきた歴史や文化があることに気づき、大人になってからも故郷に対して誇りをもてる心情を育て、自然と共存しながら未来に向かってよりよく生きるための課題解決力を高める。

■企画内容 安倍晴明の子孫とゆかりがあり、豊かな自然に恵まれた名田庄地域での自然体験（登山）を通し、地域の歴史を知り、SDGs の観点から自然と共生するための課題を見つけ、解決するための力を育む活動を、公立の小学校と自然体験を企画運営する企業が協働して行った。

■実施期間 2025年7月～11月

■実施場所 おおい町立名田庄小学校区周辺（名田庄トレイルがある山間部等）

■企画の特徴

子どもたちの活動の舞台である名田庄は、安倍晴明の子孫である土御門家が応仁の乱などの戦乱を避けて、室町時代に移り住んだという歴史的背景のある地域です。そのため、名田庄には、陰陽道や暦など、朝廷と名田庄の繋がりを学ぶ場所（暦会館や天社土御門神道本庁、土御門家墓所など）が数多くあります。また、この名田庄地域は、東西南北を山と川で囲まれた自然豊かな場所でもあります。



今回の企画の特徴は、『名田庄の「自然」と「歴史」、そして「人」が子どもたちの学びを通して繋がっている』ところです。以下、箇条書きにて今回の活動の繋がりをまとめました。

- ・地元登山トレイル有識者の方（地元企業）と小学校という教育機関の繋がり
- ・子どもたちの郷土である名田庄の豊かな自然と歴史（陰陽道、朝廷、安倍晴明など）という繋がり
- ・子どもたちからの大人への繋がり（ガイドングムービーなどを通して）
- ・メイン活動（登山）から普段の授業（総合的な学習の時間の学び）への繋がり

メイン活動（登山）を軸として、その時の実体験がさまざまな活動に派生していき、子どもたちのよりよい学びの獲得、そして将来をよりよく生きるための問題解決力の向上や心情を高めていく活動です。

